



主な事業の予算額

ブランド推進事業
2500 万円



国民体育大会経費
6235 万円



越前加賀インバウンド受け入れ体制整備事業
2147 万円



芦原温泉駅周辺整備事業
5 億 3878 万円



芦原中学校グラウンド改修事業
4500 万円

各会計の当初予算額 (合計 215 億 9021 万円)

一般会計 139 億 4000 万円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 39 億 4460 万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

- 国民健康保険特別会計 36 億 2450 万円
- 後期高齢者医療特別会計 3 億 1510 万円
- 農業者労働災害共済特別会計 500 万円

企業会計 35 億 237 万円

一般の会社と同じように、独立の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

- 水道事業会計 10 億 559 万円
- 工業用水道事業会計 1101 万円
- 公共下水道事業会計 23 億 7009 万円
- 農業集落排水事業会計 1 億 1568 万円

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2 億 324 万円

旧芦原町内の特定区域（財産区）の水道事業にかかる会計

家計簿でチェック

今年度の一般会計当初予算を年収約 464 万円（3000 分の 1）の家庭に置き換えて家計簿にしました。

1 年間の収入合計 約 464 万円	
基本給与（市税）	154 万 6953 円
諸手当（分担金及び負担金）	9 万 7436 円
副業収入（使用料及び手数料）	5 万 4571 円
預金の取り崩し（繰入金）	19 万 809 円
臨時収入など（寄付金、財産収入など）	14 万 2391 円
親からの援助（交付税、国県補助金など）	222 万 3440 円
銀行からの借入れ（市債）	39 万 1067 円
貯金残高（財政調整基金）	121 万円
借金残高（市債残高）	617 万円

1 年間の支出合計 約 464 万円	
食費（人件費）	71 万 1390 円
医療費（扶助費）	88 万 9039 円
光熱水費、消耗品費など（物件費）	65 万 1056 円
子どもへの仕送りなど（補助費等）	89 万 9826 円
家や車などの修繕費（維持補修費）	1 万 5647 円
家などの増改築（普通建設事業費）	56 万 3844 円
借金返済（公債費）	49 万 4636 円
貯金（積立金）	1 万 3845 円
その他（予備費、災害復旧費、繰入金など）	40 万 7384 円

収入をみると、昨年より基本給与は増えているものの、収入の半分近くは親からの援助に頼っており、銀行からの借入れも毎年行っています。今後は、親からの援助や借り入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めるとともに、支出を抑え

ていく必要があります。

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が約 4 割を占めています。

これまで、食費や光熱水費、消耗品費などを切り詰めてやりくりしてきましたが、今後もより一層の努力が必要です。

平成 29 年度 あわら市の 予算

問合せ
財政課
☎ 73,8008

「暮らしやすくして幸せを実感できるまち」を推進

平成 29 年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ 139 億 4000 万円です。前年度と比較して 8 億 8000 万円（5.9%）の減となりました。

これは、前年度で計上した国営九頭竜川下流土地改良事業負担金や庁舎耐震補強・改修工事、小中学校コンピュータ整備、農業者トレーニングセンター改修工事などの大型事業が終了したことによります。

市の貯金

— 財政調整基金

市の貯金である財政調整基金は、合併当初の平成 15 年度末には 5 億 4507 万円でしたが、平成 26 年度から合併による優遇措置が縮小され地方交付税が減額されることを踏まえて、これまで積極的な積み立てを行ってきました。平成 28 年度末には 36 億 3600 万円となる見込みです。

市の借金

— 市債残高

市の借金である市債は、平成 28 年度末で約 185 億円（前年度比約 7 億円の増）となる見込みです。これは、国営九頭竜川下流土地改良事業負担金や庁舎耐震補強・改修工事などの借り入れによるものです。市債は、償還額の一部または全部が地方交付税に算入される借り入れ（合併特例債など）を活用しています。

一般会計当初予算規模 139 億 4000 万円

